

1. はじめに

『日本語歴史コーパス』（以下 CHJ）「江戸時代編VI上方絵入狂言本」として、『好色伝受』『うかれきやうげん』『大雑書伊勢白粉』『代々の御神楽』の4作品を公開する。

絵入狂言本はおおむね歌舞伎の筋書き本と考えられているが、その中で『好色伝受』（小嶋彦十郎作、元禄 6（1693）年刊）はせりふ、ト書きともかなり詳細であり、特異な位置を占める。また、せりふ部分は発話者が明示され、ト書き部分は二行割書にされて四周を囲われてせりふ部分と区別されており、ほぼ上演台本、いわゆる台帳と考えてよい資料である。この時期、こうした台帳形式は他に天和 3（1683）年刊の『うかれきやうげん』（山本遊学作）を見るのみである。

この台帳形式は生の会話の記録に極めて近いと、談話状況などがとてもわかりやすく口語資料としての利用価値が高い（村上 2023）。そこで、この2書を書誌情報・形態論情報を整えたコーパスとして公開することにした。加えて、『好色伝受』の作者小嶋彦十郎の作である元禄 9（1696）年刊の絵入狂言本『大雑書伊勢白粉』と元禄 11（1698）年刊の『代々の御神楽』の2作品も公開する。これらは『好色伝受』のような台帳形式をとっていないが、小嶋彦十郎のことばづかいを比較検討するための資料として有益と考えられるためである。

なお、本サブコーパスのうち『好色伝受』のテキストは坂梨・小木曾・酒井・村上（2000）の本文をもとにしている。その他3作品のテキストデータは、関西学院大学の村上謙氏が作成したものである。

2. テキストの凡例

2.1 テキストの範囲

本コーパスのテキストは、刊記や役者一覧、挿絵内の文も含め、原則として全てのテキストを対象としている。挿絵内の文については、中納言の「本文種別」で要素を区別している。

2.2 濁点誤りの処理

上方絵入狂言本の底本では、濁点落ちや濁点位置が不審な例がしばしばみられる。濁点・半濁点が期待される箇所には付されていない例のほか、濁点が不要と思われる箇所には付与されている例、前後の文字で濁点の位置が入れ替わってしまっている例もある。濁点落ちについては、近世期の資料の特徴として原本での記述を維持した。

一方、過剰に濁点が付されていると考えられる箇所は、タグによる情報を残した上でテキストを修正して形態論情報を付与した。変換前の文字列は「中納言」の検索結果の「原文文字列」列および「原文 KWIC」欄に表示される。

【例】

(1) 〈原文〉 とかくこゝにてあのあく人めがてにかゝろわいのといふてなけぐ。

〈入力〉 とかくこゝにてあのあく人めがてにかゝろわいのといふてなげく。

(うかれきやうげん・図1)

(2) 〈原文〉 じひふかいとのさまで二たびよびもどさしやつだてはないか

〈入力〉 じひふかいとのさまで二たびよびもどさしやつたてはないか (好色伝受・図2)

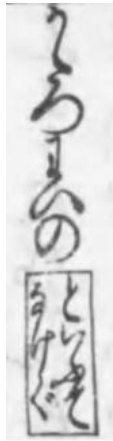


図 1



図 2

2.3 踊り字の校訂

既存の「CHJ 江戸時代編」では、仮名 1 字分の踊り字（ゝ、ゞ、ゝ、ゞ）は、想定される仮名に置き換える処理を行っている。本コーパスでは、2 字分以上に相当するくの字点とともに置き換えの対象とせず、原本での記述を維持した。

3 「中納言」における表示項目と内容

「江戸時代編VI上方絵入狂言本」Ver.1.0 の収録作品のコーパスの本文に付したさまざまなタグや単語情報は、コーパス検索アプリケーション「中納言」上に検索結果として表示される。表示については他のサブコーパスと統一を図っているため、概略・省略しながら本コーパスでの仕様を示す。

[illegible]

図3 中納言での検索結果表示イメージ

3.1 時代名・サブコーパス名

時代名は「5 江戸」、サブコーパス名は「江戸-上方絵入狂言本」と表示する。

3.2 サンプル ID

既存の『日本語歴史コーパス』で用いられている統一的なルールに従いながらサンプル ID を付与した。

1-2 桁目	3 桁目	4-5 桁目	6-9 桁目	10 桁目	11-15 桁目
時代	ジャンル	作品ID	成立時期	区切り記号	作品内での出現順通し番号

表1 サンプル ID 付与のルール

1-2 桁目は、すでに公開されている他の「江戸時代編」収録コーパスでの時代区分の割り振りに従い「51」（江戸時代前期）とした。

3 桁目のジャンル情報は、江戸時代編では採用していないため、一律で区切り記号「-」を付与している。

4-5 桁目は、現在収録中の 4 作品の作品名から次のように設定した。

作品	作品 ID
うかれきやうげん	うか
好色伝受	好色
大雑書伊勢白粉	白粉
代々の御神楽	代々

6-9 桁目の成立時期については、現在収録中の 4 作品の刊行年から次のように設定した。

作品	成立時期
うかれきやうげん	1683
好色伝受	1693
大雑書伊勢白粉	1696
代々の御神楽	1698

11-13 桁目は、現在収録中の 4 作品の構成に基づき、本文前の口上や役者一覧を 000、本文を 001、挿絵を 002、刊記を 003 とした。14-15 桁は、作品の構成要素内の通し番号をふっている。

3.3 本文情報

本コーパスのデータは全て人手による修正を加え、コアデータとして公開する。

3.4 本文情報

3.4.1 本文種別

CHJ 江戸時代編コーパスでは、本文種別を次のように区別している。

- ・ 会話 歌舞伎の台詞部分
- ・ 割書き 『うかれきやうげん』『好色傳受』における役者の舞台上の動き等を示すト書き部分
- ・ 空欄 『代々の御神楽』『大雑書伊勢白粉』におけるト書き部分
- ・ その他 本編前の役者一覧、口上、挿絵、奥付等

これらの本文種別は「中納言」検索結果の「本文種別」欄に表示する。

3.4.2 話者

本コーパスの「中納言」検索結果の話者名には、会話部分の発言者が示される。話者名は原文の表記に従って示した。

3.5 作品情報

「中納言」検索結果の各欄に表示される内容は下記の通りである。

- ・ ジャンル
「ジャンル」には「上方絵入狂言本」と表示される。
- ・ 作品名
「作品名」には現在収録中の 4 作品の作品名が表示される。
- ・ 成立年

「成立年」には現在収録中の 4 作品の刊行年が表示される。

- ・ 巻名等

現在収録中の 4 作品の巻名等の構成要素が表示される。

- ・ 作者

『うかれきやうげん』の作者・山本遊学、他 3 作品の作者・小嶋彦十郎がそれぞれ表示される。小嶋彦十郎については、国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス（NDLAuthorities）へリンク付けを行った。

3.6 底本情報

3.6.1 底本

現在収録中の 4 作品の底本は下記の通りである。

作品	底本
うかれきやうげん	筑波大学附属図書館蔵『うかれきやうげん』
好色伝受	国立国会図書館蔵『好色傳受』
大雑書伊勢白粉	東京藝術大学付属図書館蔵『大雑書伊勢白粉』
代々の御神楽	天理図書館蔵『代々の御神楽』

「中納言」検索画面における底本の箇所には、現在収録中の 4 作品の底本の表記による作品名が表示される。

3.6.2 ページ番号

ページ番号には、現在収録中の 4 作品の該当箇所の丁数と表裏が表示される。

3.6.3 参考リンク

現在収録中の 4 作品のうち、3 作品は底本リンクから底本へのアクセスが可能である。また、『うかれきやうげん』については中巻のみ参考リンクとして校訂に用いた版本の閲覧が可能である。各作品の底本リンク・参考リンク先と略称ロゴは下記の通りである。

作品	底本リンク先（略称ロゴ）	参考リンク（略称ロゴ）
うかれきやうげん	国書データベース（Nijl）	東京大学総合図書館霞亭文庫（UT-Katei）
好色傳受	国立国会図書館（NDL）	なし
大雑書伊勢白粉	国書データベース（Nijl）	なし
代々の御神楽	なし	なし

【参考規程・概要書】

片山久留美 (2019) 「『日本語歴史コーパス 室町時代編』形態論情報規程集 Ver.1.0」

https://clrd.ninjal.ac.jp/chj/morph_muromachi_v1_0.pdf.pdf

村山実和子 (2018) 「『日本語歴史コーパス 江戸時代編Ⅰ洒落本』テキストの凡例と『中納言』表示項目について」 (2019年3月29日更新) <https://clrd.ninjal.ac.jp/chj/doc/abstract-share-2019.pdf>

村山実和子 (2019) 「『日本語歴史コーパス江戸時代編Ⅰ洒落本』『同 江戸時代編Ⅱ人情本』形態論情報の概要」 <https://clrd.ninjal.ac.jp/chj/doc/morph-edo-2019.pdf>

村山実和子 (2019) 「『日本語歴史コーパス 江戸時代編Ⅱ人情本』テキストの凡例と『中納言』表示項目について」 <https://clrd.ninjal.ac.jp/chj/doc/abstract-ninjo-2019.pdf>

片山久留美 (2020) 「『日本語歴史コーパス 江戸時代編Ⅲ近松浄瑠璃』テキスト・表示項目について」 <https://clrd.ninjal.ac.jp/chj/doc/abstract-chikamatsu-2020.pdf>

片山久留美 (2020) 「『日本語歴史コーパス江戸時代編Ⅲ近松浄瑠璃』形態論情報の概要」 <https://clrd.ninjal.ac.jp/chj/doc/morph-chikamatsu-2020.pdf>

松崎安子 (2021) 「『日本語歴史コーパス 江戸時代編Ⅳ随筆・紀行』Ver.0.4 (芭蕉の紀行文) テキストの凡例と『中納言』表示項目について」 <https://clrd.ninjal.ac.jp/chj/doc/abstract-zuihitsu-202103.pdf>

松崎安子 (2023) 「『日本語歴史コーパス 江戸時代編Ⅳ随筆・紀行』Ver.0.8 テキストの凡例と「中納言」表示項目について」 <https://clrd.ninjal.ac.jp/chj/doc/abstract-zuihitsu-202303.pdf>

久保証子 (2025) 「『日本語歴史コーパス 江戸時代編Ⅴ注釈書』形態論情報の概要」 <https://clrd.ninjal.ac.jp/chj/doc/morph-chushaku-202503.pdf>

久保証子 (2025) 「『日本語歴史コーパス 江戸時代編Ⅴ注釈書』テキストの凡例と「中納言」表示項目について」 <https://clrd.ninjal.ac.jp/chj/doc/abstract-chushaku-202503.pdf>

【参考文献】

野間光辰監修 (1973) 『飜刻 絵入狂言本集 上』般庵野間光辰先生華甲記念会

坂梨隆三、小木曾智信、酒井わか奈、村上謙 (2000) 『好色伝受 本文・総索引・研究』笠間書院

村上謙 (2023) 『近世後期上方語の研究—関西弁の歴史—』花鳥社

久保証子、小木曾智信、村上謙 (2025) 「「上方絵入狂言本」コーパスの構築と公開」日本語学会 2025 年度秋季大会ワークショップ「通時コーパスをひらく —『日本語歴史コーパス』と『OpenCHJ』—」